平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)【吉本ゼミ】			授業コード	E002722
担当教員名	吉本　圭一郎			科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	会計ファイナンスコースの専門科目を履修していること。				
受講心得	ゼミでは，卒業論文の途中報告と発表をしてもらいます。計画的に卒業論文に取り組んでください。				
教科書	ゼミで指示します。				
参考文献及び指定図書	ゼミで指示します。				
関連科目	簿記・会計科目				

授業の目的	本ゼミでは，簿記・会計学の専門的学習を通じて，ものの見方や考え方，特にものごとを相対化して考える能力を養っていきます。また，課題発表や議論を積極的に行うことで，プレゼン能力や他者とのコミュニケーション能力の向上も目的としています。 ゼミナールⅣでは，これまでの集大成として卒業論文の作成が主となります。卒業論文の作成を通じて，経営のための実践的な会計能力を身につけましょう。
授業の概要	毎週報告者を決め，発表してもらいます。各自の卒業論文テーマに基づいてレジュメを作成し，発表してもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 履修指導 オリエンテーションと履修指導を行います。	
第 2 週 ： 論文構想1 どのようなテーマで卒業論文を作成するか，構想を練り，テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」など)の熟読(1時間)
第 3 週 ： 論文構想2 どのようなテーマで卒業論文を作成するか，構想を練り，テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」など)の熟読(1時間)
第 4 週 ： 論文構想3 どのようなテーマで卒業論文を作成するか，構想を練り，テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」など)の熟読(1時間)
第 5 週 ： 論文構想4 どのようなテーマで卒業論文を作成するか，構想を練り，テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」など)の熟読(1時間)
第 6 週 ： 論文テーマの決定1 これまでの調査をふまえて，卒業論文のテーマを決定します。	レポート作成，提出(1時間)
第 7 週 ： 論文テーマの決定2 これまでの調査をふまえて，卒業論文のテーマを決定します。	レポート作成，提出(1時間)
第 8 週 ： 論文テーマの決定3	

これまでの調査をふまえて，卒業論文のテーマを決定します。	レポート作成，提出（1時間）
第 9 週 ： 論文テーマの決定4 これまでの調査をふまえて，卒業論文のテーマを決定します。	レポート作成，提出（1時間）
第10週： 論文目次作成1 卒業論文の目次を検討，作成します。	卒業論文着手（2時間）
第11週： 論文目次作成2 前回に引き続き，卒業論文の目次を検討，作成します。	卒業論文着手（2時間）
第12週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第13週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第14週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第15週： 前期の振り返り 前期の振り返りを行います。	
第16週： 履修指導 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第17週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第18週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第19週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第20週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第21週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第22週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第23週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第24週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第25週： 卒業論文について発表・ディスカッション	

発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第26週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第27週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第28週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第29週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第30週： 卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は，各自の卒業論文について，ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して，論文の精度を高めていきます。	卒業論文着手（2時間）
第31週： 期末試験 試験はありません。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	論文テーマに基づき，何をすべきか自主的に行動することができる。
【知識・理解】	論文テーマについての基礎的知識・理解がある。 企業経営を数値面から分析する手法を身に付けている。
【技能・表現・コミュニケーション】	自身の考えを発表し，相手に伝えることができる。
【思考・判断・創造】	問題意識を持ち，それについて自分の考えを文章として正確に表現できる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	85点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**15点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**50点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**15点**		

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	ゼミで報告者を決めますので，報告者は責任をもって行ってください。ゼミで報告する卒業論文の内容で評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 Sレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 Aレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 Bレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 Cレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 （無形成果）	ゼミ中に適宜質問します。優れた解答をした学生は，記録して加点することがあります。